

2026年2月27日

株式会社ACSL

## ACSL、自律制御・分散制御ドローン向けAI技術開発を開始 Preferred Networks を再委託先に選定し、AI搭載小型ドローンの開発に着手

- ACSLは、NEDO公募のK program「小型無人機の自律制御・分散制御技術の研究開発」事業において、AIを活用した小型ドローンの研究開発を実施
- AIソリューション・製品開発を行う Preferred Networks にAIを活用した高度な自律制御・分散制御に対応するソフトウェア開発を委託
- AIを活用した次世代の自律制御技術の確立、社会受容性及び利便性の向上を目指す

株式会社ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役 Co-CEO：早川研介・代表取締役 Co-CEO：寺山昇志、以下、ACSL）は、採択されたK Program「小型無人機の自律制御・分散制御技術の研究開発」事業において、AIを活用した高度な自律制御・分散制御に対応するソフトウェア開発を株式会社 Preferred Networks（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡野原 大輔、以下、PFN）に委託し、小型ドローンへのAI技術活用を進めることといたしましたので、お知らせいたします。

PFNは、独自の純国産の生成AI基盤モデルを有し、幅広い産業領域でAI/ロボティクスに関するソリューションおよび製品開発を行っています。PFNと連携することで、AI技術によるドローンの高度化・高付加価値化をさらに推進してまいります。

### ■ K program「小型無人機の自律制御・分散制御技術の研究開発」事業について

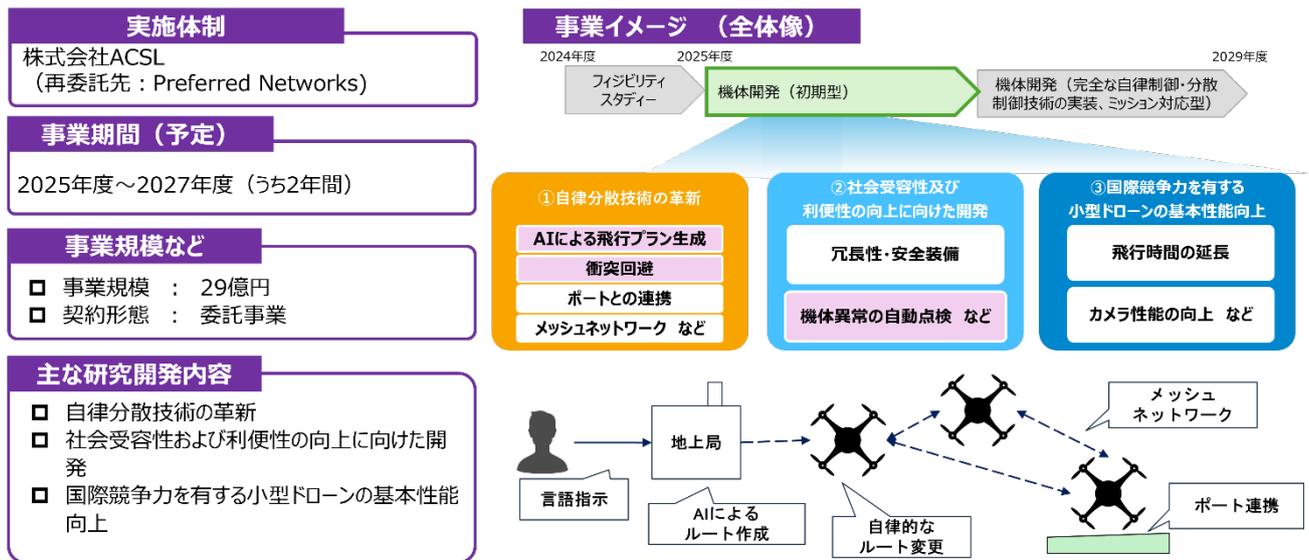
ACSLは、2025年10月、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）が公募した、経済安全保障重要技術育成プログラム（以下、K Program）における研究開発構想「小型無人機の自律制御・分散制御技術の研究開発」（以下、本研究開発構想）にて実施する事業「小型無人機の自律制御・分散制御技術（研究開発項目（2）」（以下、本事業）の委託先として採択されました\*。

K Programは、日本の国際的な競争力維持に不可欠な先端・重要技術の育成を目的としており、本事業では、高度な自律制御・分散制御に対応するソフトウェアを搭載した小型無人機の初期型機体の開発に取り組みます。

本事業においてPFNと連携して以下のような機能開発を進め、次世代小型ドローンの技術確立を目指します。

- ・生成AIを用いた飛行プランの自動生成、環境変化に応じたプランの再構築
- ・従来の障害物検知を超えた、AIによる高度な物体認識と障害物回避
- ・AIが機体異常の兆候を検知する自動点検機能

これらにより、将来世代の小型無人機に求められる高度な自律制御技術の確立を図り、飛行の安全性・信頼性を一層向上させることで、ドローンの社会受容性および利便性の向上に貢献してまいります。



K program「小型無人機の自律制御・分散制御技術の研究開発」事業概要図

なお、ACSLは中期経営方針「ACSL Accelerate FY26」において、“世界中の安全・安心を支える人が頼れるメーカー”への成長を目指し、6つの重点戦略を掲げています。本取組は、そのうちの「先端技術による機体進化」を担う中核的な取り組みであり、本事業で開発するAIを活用した自律制御技術は、2028年リリース予定の次々世代機に搭載される主要技術となるものです。こうした次々世代機に向けた基盤技術の確立を通じて、当社はドローン技術の高度化と産業応用の幅の拡大を一層加速させてまいります。

ACSLは、先進技術の研究開発を通じて国産ドローンの社会実装を加速し、国内外の幅広い産業領域における利用の拡大を目指してまいります。

※[経済安全保障重要技術育成プログラムにおける「小型無人機の自律制御・分散制御技術の研究開発（研究開発項目（2）」に関する研究開発構想の委託先への採択に関するお知らせ](#)

【株式会社ACSLについて】 <https://www.acsl.co.jp/>

ACSLは、「技術を通じて、人々をもっと大切なことへ」をミッションに、国産の産業用ドローンを開発・量産するメーカーです。独自の自律制御技術と高い信頼性を備えた機体を提供し、空撮・点検・物流・防災など多様な領域で社会インフラの維持管理や安全・安心に貢献しています。

【このニュースリリースへのメディアからのお問い合わせ】

株式会社ACSL 広報担当（Tel：03-6456-0931 Email：[pr@acsl.co.jp](mailto:pr@acsl.co.jp)）

以上